

## 鴨川市江見3地区学校施設等統合整備検討委員会第4回会議の概要について

### 前回会議の概要

#### 議事（1）江見3地区学校施設等の施設整備（案）について

前回会議で出た主な意見等について振り返るとともに、9月5日に3小学校の先生方が実際に旧江見中学校施設を見学したこと、見学に基づいて要望内容を取りまとめ、9月13日に教育委員会に要望が提出されたことが前田学校教育課長から報告され、この要望内容について、9月17日に3小学校の校長先生、設計事務所担当者、教育委員会担当で協議を行い、計画案に反映させたと変更の経緯について説明があった。

主な変更内容は、3階に3年生から6年生の教室を配置していたものを、2階に3、4年生、3階に5、6年生の教室を配置したことであり、この変更に伴い、いくつかの教室の配置に変更が出るが、現場の先生方の要望を取り入れていきたいと考えており、審議をお願いしたいと説明があった。

また、久保委員長から各学校の要望を取りまとめ、さらに3校の校長、教頭が集まって優先順位をつけて要望を行ったこと、総額の予算があることから優先順位によって改善を図っていくことで了承を得ているとの補足説明があった。

#### 委員から出された意見・質問等について

##### ① 江見3地区統合小学校の施設整備計画（修正案）について

- ・ 3階に普通教室があると、災害時など避難の際に支障はないのかという意見があった。また、多目的トイレは1階だけに設置予定であるが、車椅子が必要な児童がいる場合、2階、3階での対応はどうか質問があった。

このことについて、非常時の避難が安全安心の最優先課題であることから、開校後には学校施設のどこに普通教室があるのか把握し、それを踏まえて避難訓練等を実施していくこと、3階に普通教室がある場合には、より迅速な避難誘導を考え、訓練を通して子ども達の安全を図っていく考えである。また、多目的トイレについては、車椅子が必要な子どもが入学した場合、避難の問題もあることから、なるべく下の階にその子が学習する教室を設けることを念頭に置いており、このため多目的トイレは1階の整備を考えていると事務局から説明した。

- ・ 1階に1、2年生、2階に3、4年生、3階に5、6年生の配置となることに賛成する。各教室の隣に空き教室があり、更衣室や少人数教室で使えることからこの案に賛成するといった意見があった。
- ・ 旧江見中学在校時には、床が湿気でベタベタしていたが、改修で直してもらえるのか、また、現在、校舎の前とグラウンドで段差があるが、ロータリーを整備する際には段差が解消されグラウンドに車を入れることができるのか質問があった。

このことについて、床については現在カーペット素材でできており、それが湿気で水分を吸って滑りやすくなっている状態であるため、今回の改修では滑らないようなシート状のもので廊下は仕上げたい、また、ロータリーの設置では段差

を解消し、ゆるやかなスロープによる接続で校庭にも車を入れることができるように考えていると設計事務所担当者から説明があった。

- ・ 1階から3階について、教室はバリアフリーとなるのか質問があり、教室と廊下の段差については、全て平らになると設計事務所担当者から説明を行った。

小学校施設の整備計画については他に質問等がなく、施設整備計画案について当委員会として了承することが確認された。

## ② 幼保一元化施設の施設整備計画（修正案）について

冒頭、前田学校教育課長から前回8月29日の会議でいただいた意見、その後9月2日に幼稚園、保育園の先生方と設計事務所担当者、教育委員会担当で協議した内容を反映させて修正案を提出させていただいたと変更の経緯について説明があり、整備計画の変更内容について設計事務所担当者から説明が行われた。

主な変更箇所は、2歳児の部屋を大きくしたいという要望に応じて2歳児の部屋を大きくしたこと、小さくした0歳児、1歳児の部屋の間仕切壁を建具で出入りできる形に検討し直したこと、遊戯室に新たに出入口を設けて雨天時にはこちらからも出入りできるようにしたこと、駐車場に専用の歩道を設けるとともに小学校、幼保一元化施設に向かう横断歩道を設置し安全確保する内容としたことであった。

## 委員から出された意見・質問等について

- ・ 医務コーナーで園長又は主任が介護、看護をしながら事務室を臨む形を希望したいが、医務コーナーの仕切りは壁ではなく、事務室が見える状態となるのかと質問があり、そのことについては、まだ黒板の位置など詳細な箇所について詰めていかなければならないため、中が見える形は考えているものの、もう少し詳細が詰まってから再度打ち合わせをさせていただきたいと設計事務所担当者から説明した。
- ・ 遊戯室に新たに作られた出入口について、この目的は何なのか質問があり、前回会議で大雨等の場合に保育園の小さなお子さんが歩く距離が長いことへの配慮について意見があったことから、そういう時のための出入口として設計事務所に検討していただき、修正案に反映させたことを事務局から説明した。

また、このことに関連し、この出入口は玄関として認識して良いのか、4、5歳児専用となるのかなどの質問があり、玄関ではなく、降雨時にバス乗り場にすぐ出られるような開口部として考えており、0歳児から5歳児までみなさんに使っていただくことを想定しており、傘立てなどの細かい点については、今後、先生方と詰めていく考えであることを説明した。
- ・ 沐浴室がL字型に変更となったことについての内容確認や、夏場のプール遊び対策として3歳児室前の排水対策について要望があった。このことについて、沐浴室の詳細な内容については今後詰めていきたい、排水対策については考えていきたいと設計事務所担当者から説明を行った。
- ・ 幼保一元化施設の建築材料について、アトピーの問題等もあることから体に優

しい材料でお願いしたいと要望があった。このことについては、この種類の施設には環境基準が定められており、ホルムアルデヒド等の検査などを行い、その基準に達していないという証明を受けてからの引渡しとなるので安心していただきたいと設計事務所担当者から説明を行った。

- ・ 保護者の中に駐車場の先にある農地の所有者がおり、稲刈りなどの時には駐車場を歩いて行っている。柵などが設置されると通れなくなるので心配しているが、どうなるのかと質問があった。このことについては、プール脇を歩いて上の農地に行ける道路用地があり、公道であるのでその部分の制限はないと事務局から説明した。
- ・ 統合小学校と幼保一元化施設を合わせた教職員数の見込みについて質問があり、その数によっては職員用の駐車場はどう考えているのか質問があった。このことについて、職員数は 30 名程度を見込んでいること、駐車場については施設に近い所は保護者優先で考えており、職員は移動回数が少ないので奥の方を想定している。開校までに小学校、園と内容を詰めていき、詳細については開校前に保護者にお知らせしたいと事務局から説明を行った。
- ・ 火災等があり、グラウンドに避難した場合に、火元である校舎等に近づかないでグラウンドから下りられるような通路はあるのか質問があった。このことについて、火災の方に向かって避難させてはいけないことであるので、火災等から離れるような形で避難できるようにこれから工事を進めていく中で対応したいと事務局から説明した。

幼保一元化施設の整備計画について他に質問等がなく、施設整備計画案について当委員会として了承することが確認された。

## 議事（2）その他

羽田福祉課長から、今後、学校、保育園、幼稚園等とも相談をしながら、できるだけ早い時期に学童保育の利用を考えている保護者に集まっていただき、説明会を実施したいこと、どのくらいの方が学童保育を希望されているのか人数調査を行い、皆様からご意見を伺いながら学童保育が実現するように進めていきたいと説明を行った。

また、第 5 回会議以降は通学に関する事項について検討が行われることから、事前に参考資料として①鴨川中学校の通学バスの運行状況について、②方面別バス乗車人数推計資料、③各バス停の状況についての説明を事務局から行った。

方面別バス乗車人数推計資料については、現時点で見込まれている平成 27 年度の開校・開園時の人数を最寄りのバス停に振り分けたものであり、将来的に変動があること、幼稚園の人数については預かり保育を希望しなかった場合の人数であること、通学方法の詳細は今後検討していただくが、方面別にバスの大きさを検討する際に参考にしていただきたいこと、バス停の写真は周辺の横断歩道や歩道の整備要望などの検討資料として活用していただきたい旨を説明した。

次回会議について、11 月 1 日（金）午後 7 時から市役所 7 階会議室で開催するこ

とで日程調整を行った。

### **その他、委員から出された意見・質問等について**

- ・ 次回会議が11月1日だが、できれば3回くらい先の日程まで示していただきたいと要望があり、次回には先の日程も決めさせていただき、その先のスケジュールについても概要を示したいと事務局の考えを説明した。
- ・ 次回の通学路の会議について他の地区については詳しいことがわからないため、曾呂ならば曾呂、江見ならば江見というような分け方で3つに別れて、そこで検討してみてもどうか、統合整備検討委員会は、全体の意見として詰めていくこととした方が、時間的にも効率的なので事務局として検討してみてもどうかと意見をいただき、事務局としても時間を有効に使うにはどうしたらよいかを考えていきたいので、自分達の一番知っている地域を十分にやっていただき、全体でまとめて出していただくなど一番有効的な方法を検討していきたいと説明した。
- ・ 26年前に房州大橋のバス停でバスの後ろから飛び出して亡くなった事故があったが、過去に事故があった場所や危険と思われる場所等について資料をいただけないか、他の地区の危険箇所についてはわからないので資料が欲しいとの要望があった。
- ・ バス停の位置についてはこれで決まりなのか、バス停まで何キロもある子ども達はどうしたらよいかと意見があり、そうした要望はそれぞれの地区毎にあると思われるので、今、地区としてこういう問題や不安要素があるということを出していただかないとこちらも分からないので、次回会議ではそうした意見も出していただき、より良い通学、通園を検討していきたいと事務局から説明を行った。